

(様式2)


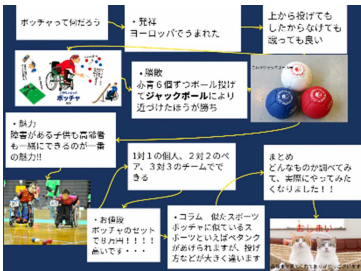
2021年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 磐田市立豊田南小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑦（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	5年 84名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・実際の競技を体験したり、オリンピック・パラリンピックについて調べ学習を行ったりすることで、スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心を持つことができる。
5 取組内容	・教具（ボッチャ）を購入し、実際に体験する中でパラリンピック種目に興味関心を持つ。また、障がい者スポーツを通じて、福祉の考え方を学ぶ。  ・オリンピック・パラリンピックの歴史について総合的な学習の時間に調べ学習を行う。  (画像：Google chromebook □ イロノートを活用してボッチャの歴史や競技について調べた)

	<ul style="list-style-type: none"> • 聖火ランナーを招き、トーチ展示や体験談を聞くことで、オリンピック・パラリンピックに興味関心を持つ。 
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • 学習前は、障がい者スポーツやパラリンピックの知識がどの子どもも低かった。調べ学習や障がい者スポーツ体験を通じて、興味関心が高まった。 • パラリンピック種目を実際に体験したり調べたりしたことで、東京パラリンピックや障がい者スポーツ大会を見たい、と考える子供が増えた。 • 障がい者を身近に感じ、差別や偏見が少なくなった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の聖火ランナーの方をお招きし、実際にそのときの話を聞いたりトーチを触らせていただいたりする体験を通じて、東京オリンピック・パラリンピックを身近に感じる子供が増えた。 • ボッチャを購入し、学級活動やクラブ活動で手軽に取り組めるようにした。
8 主な課題等	<p>コロナ禍で見通しが持てない中、1年を見通した事業計画を立てることの難しさを感じた。</p>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 子供たちにとってとてもよい経験になった。来年度以降も講師をお呼びしたり、実際に活動したりすることを通して、総合的な学習の時間の「福祉」と絡めて学習していきたい。 • パラスポーツや障がい者スポーツをより身近に感じることができるよう物品購入を検討したり、調べ学習をしたりして興味関心が持てるようにしていきたいと考える。